

103-150

問題文

60歳男性。会社の健康診断で胃にポリープが見つかり、近くの総合病院で精密検査したところ悪性との診断を受け、胃の全摘手術を受けた。退院2週間後に外来を受診したところ、「食欲もなく、なかなか体力が戻らない。休職して自宅で療養している。治療にお金がかかり経済的にも厳しい。」と落ち込んだ様子だった。

この男性の体験を表す言葉として最も適しているのはどれか。1つ選べ。

1. 代償体験
2. 受容体験
3. 否認体験
4. 喪失体験
5. 退行体験

解答

4

解説

選択肢 1 ですが

代償とは、欲求が満たされない場合 それを別の形で満たそうとすることです。何か別の形で欲求を満たそうとしている といった体験と読み取ることはできません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

受容とは、状況をありのまま受け入れる ということです。なかなか体力が戻らない、厳しい といった発言から、状況をありのまま受け入れている といった体験と読み取ることはできません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

否認とは、ある事実を認めない ということです。何かを否定している発言は見られず 否認体験と読み取ることはできません。

選択肢 4 は、正しい記述です。

喪失体験とは、何かを失う経験です。健康を失い、気持ちが落ち込んでおり 適切な記述と考えられます。

選択肢 5 ですが

退行とは、幼い段階に戻ることです。発言にそのような傾向は見られません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 4 です。